

令和7年度 富山県衛生研究所 研究成果発表会

1. 日時 令和7年11月14日（金） 14:30～16:40
2. 場所 富山県薬事総合研究開発センター 創薬研究開発センター 2階大会議室
（富山県射水市中太閤山 17-1）

3. 内容

（1）開会・衛生研究所の概要（14:30～14:40）

（2）基調講演（14:40～15:10）

『県民に役立つ衛生研究所を目指して』

所長 大石 和徳

COVID-19 パンデミックを経て、2022年に地方衛生研究所（地衛研）が法律に位置付けられました。富山県衛生研究所は県庁、厚生センター・保健所、県民に感染症情報を提供し、感染症情報のリスクを評価し、情報提供します。平時から地域の感染症危機への備えを強化し、県民と双方向の情報共有をしたいと考えています。

（3）研究成果発表（15:10～16:40）

① 急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス

ウイルス部 研究員 谷口 咲羅

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、①流行しやすいARIの発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し、増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内のARIの発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備すること、を目的として、R7年度から全国一斉にスタートしました。本検査の概要とこれまでに当所で実施した検査結果を紹介します。

< 休憩 10分 >

② メタゲノム解析で判明した非典型肺炎球菌による結膜炎患者の集積事例

細菌部 研究員 大島 萌愛

結膜炎はウイルスなど多様な原因で起こる眼疾患です。2025年の第3～24週に、県内の1眼科定点医療機関から急性出血性結膜炎の届出数が増加しました。このため、多数検体で原因ウイルスの検出を試みましたが、すべて陰性であったため、一部の検体でメタゲノム解析を実施したところ、原因は肺炎球菌と判明しました。本事例の全容について、調査・解析結果を報告します。

③ 高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種に関する全国市町村実態調査

研究企画部 主任研究員 前西 絵美

高齢者肺炎球菌ワクチンは2014年10月に定期接種となり、約10年経過しましたが、全国の接種率は40%前後で低迷しています。市町村によって個別通知の有無や自己負担額などの実施状況は異なり、実態は把握できていません。今回、全国の市町村における高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の実施状況を調査し、定期接種率との関連について評価した結果を紹介합니다。

④ 飲用されている「とやまの名水」の水質の経年変化

化学部 研究員 有沢 拓也

富山県内の豊かで優れた水環境を紹介するため選定された「とやまの名水」には、飲用されているものがあります。当所では、県が策定した「とやまの名水」衛生管理マニュアルに基づき、平成15年度から令和6年度まで、飲用される「とやまの名水」の水質調査を継続して実施してきました。本発表では、理化学検査項目の経年変化に着目し紹介します。

4. 定員、その他留意事項

(1) 現地参加：定員 60名（先着順）

あらためて連絡はいたしません。連絡がない場合は、来場可能です。

(2) オンライン参加

参加申込書の参加方法欄の「オンライン」に○印をつけて下さい。後日、ZoomのURL等をメールでお知らせいたします。

(3) 感染症対策

発熱や風邪症状がみられるなど体調不良の方は、来場をお控えいただきますようお願いいたします。

5. 参加申込み、お問合せ

下記の申込書の事項を記入のうえ、11月11日（火）までに、参加申し込みフォーム（URL：<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/TPhgqW7I> または二次元コードの読み取り）またはFAXによりお申し込みください。事前申し込みがない場合、入場をご遠慮いただく場合があります。



ご不明な点などは、研究企画部（TEL：0766-56-8146）までお問合せください。

富山県衛生研究所 研究企画部 行き（FAX：0766-56-7326）

令和7年度富山県衛生研究所 研究成果発表会 参加申込書			
所 属			担当者
電話番号		E-mail	
参 加 者 氏 名	部 署・役 職 等		参加方法
			来場・オンライン
			来場・オンライン
			来場・オンライン
			来場・オンライン
			来場・オンライン

※ ご記入いただいた情報は、本発表会の実施に係る業務以外には使用いたしません。

※ 上記事項をメール本文に記載し、aeiseikenkyu☆pref.toyama.lg.jp（☆は@に置き換えます）へE-mailで申し込みいただくことでも結構です。